

◆ 今週のコメント

- ウイルス性肝炎(B型)の報告が1例(30歳代男性)あり、症状は全身倦怠感、褐色尿、発熱です。推定感染経路は性的接触(異性間)です。本年初めての報告となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱、肺炎、菌血症です。60歳以上の高齢者に多く発症しており、ワクチンによる予防が重要となります。平成26年10月から高齢者(成人用)肺炎球菌ワクチンが定期接種化されました。詳細は下記ホームページを御覧ください。
○京都市情報館「高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>
- 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は硬性下疳です。推定感染経路は性的接触(異性間)です。昨年からの増加が顕著で、特に20歳代の割合が高くなっています。

◆ 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

- 京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、6.24(256例)であり、過去5年間の平均とほぼ同じ状況となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 60例(肺結核 36例, その他結核 8例, 潜在性結核感染者 16例)うち喀痰塗抹陽性20例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 2例】
- 五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 1例【1月以降の累積報告数 4例】
- 五類:ウイルス性肝炎(B型) 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 29例】
- 五類:梅毒(早期顕症梅毒) 1例【1月以降の累積報告数 3例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	24. 10	1, 639
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6. 24	256
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 56	64
	③ 流行性耳下腺炎	0. 49	20
	④ 咽頭結膜熱	0. 37	15
	⑤ 水痘	0. 29	12
眼科	流行性角結膜炎	0. 20	2

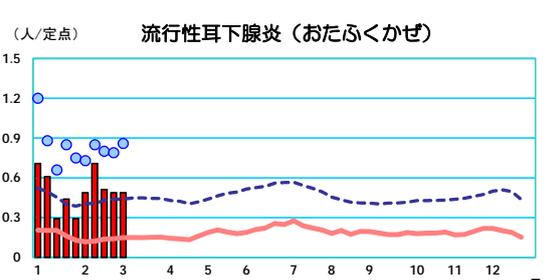
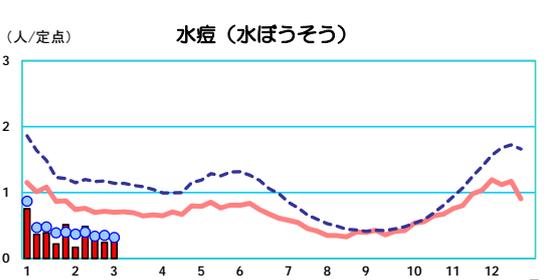
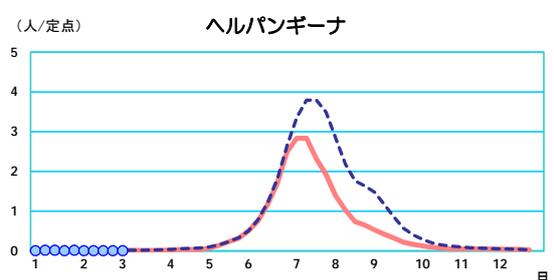
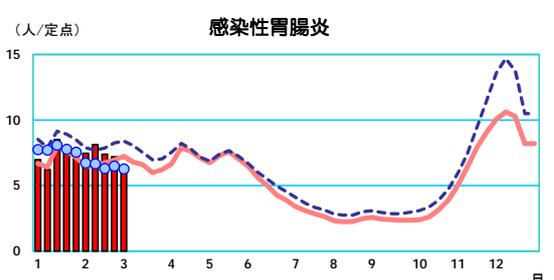
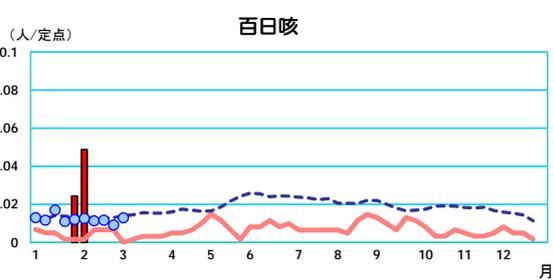
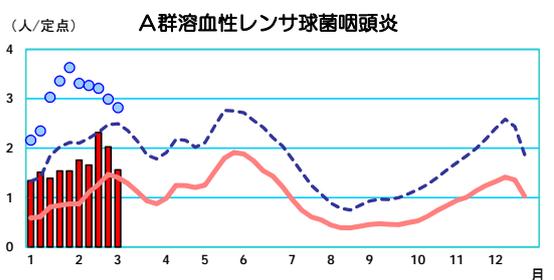
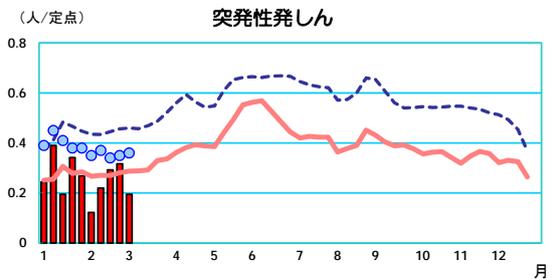
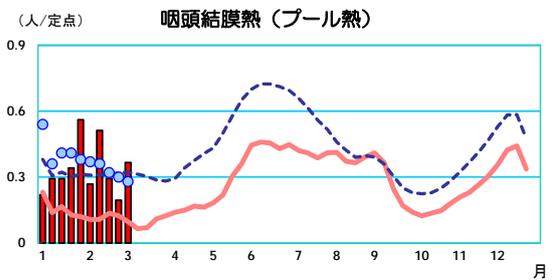
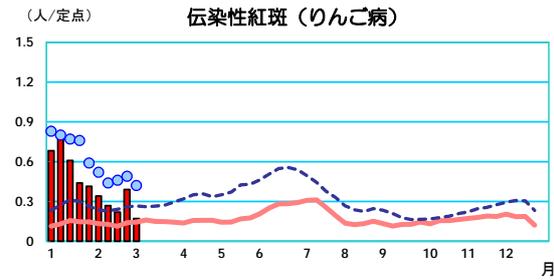
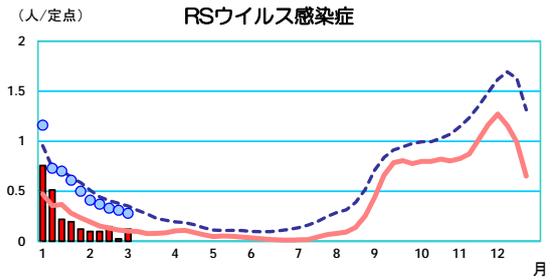
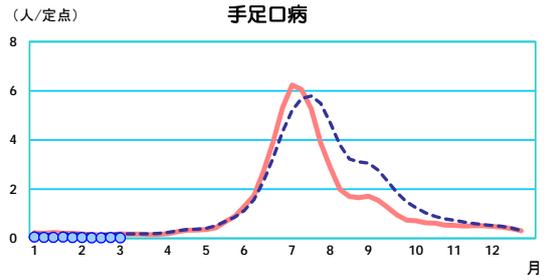
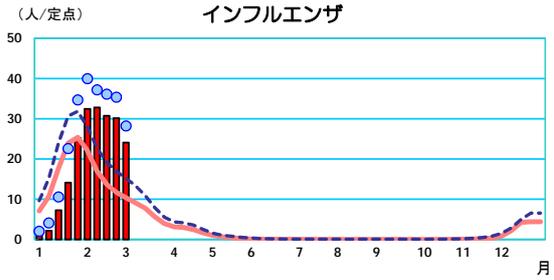
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<感染性胃腸炎>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年3月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



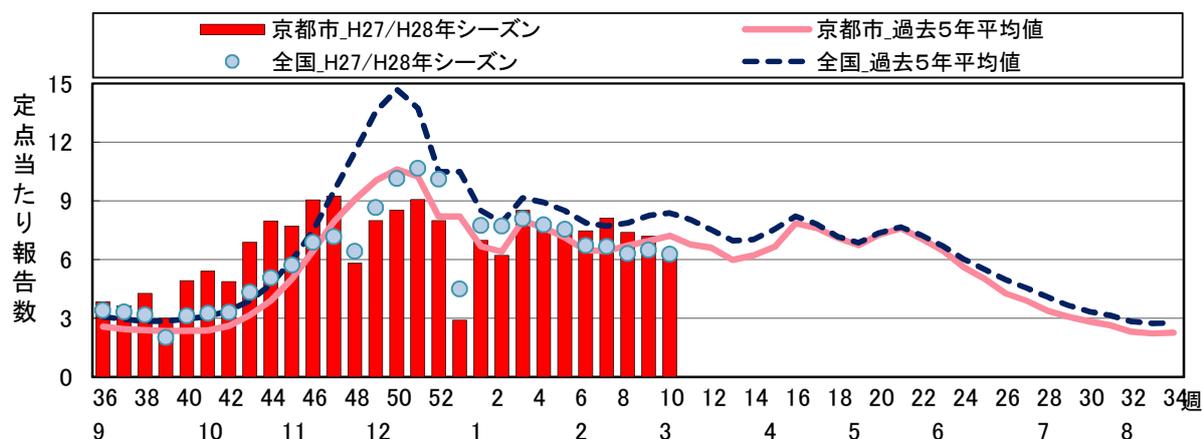
第10週(3月7日～3月13日)トピックス: <感染性胃腸炎>

京都市の感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、6.24(256例)であり、過去5年間の平均とほぼ同じ状況となっています(図1)。例年、感染性胃腸炎はノロウイルスを原因とする胃腸炎が多くなる冬季にピークを迎えた後、春先から5月にかけてはロタウイルスによる胃腸炎が多くなる傾向があります。ロタウイルスは、乳幼児の嘔吐・下痢症の原因の一つであり、生後6箇月頃から2歳頃に多く発症し、就学前の子どもの約半数が一度はロタウイルス感染症で小児科外来を受診するとも言われています。

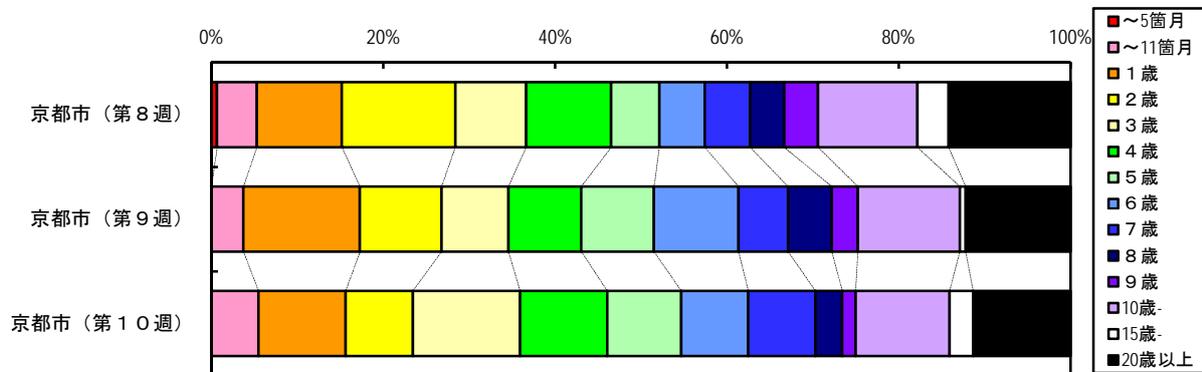
本市の年齢階級別定点当たりの報告数(第8,9,10週)をみると、0～5歳で半数以上を占めています(図2)。さらに、全国のロタウイルスによる感染性胃腸炎の定点当たり報告数も、今年に入り増加傾向が続いていることから(図3)、今後の発生動向に注意が必要です。

ロタウイルスは感染力が非常に強く、特に集団生活施設である保育園や幼稚園で、集団発生を引き起こす原因となります。感染対策にはノロウイルスに準じた対応が必要となります。突然の患者発生にすぐに対応できるように、消毒薬(次亜塩素酸ナトリウム溶液)を準備し、マスクや手袋を含む嘔吐物処理セットの使用手順などを再確認しておきましょう。

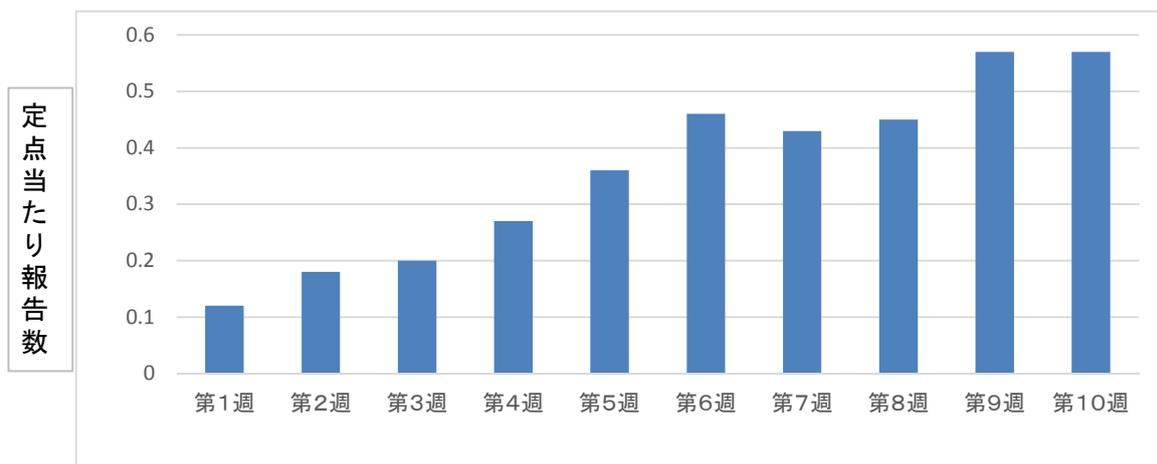
(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)京都市の年齢階級別定点当たりの報告割合



(図3)ロタウイルスによる感染性胃腸炎の全国における定点当たり報告数



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第10週

疾病,行政区別報告数

平成28年3月7日～平成28年3月13日

データ入手日:平成28年3月16日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	80	1	3	1	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	92	-	1	5	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	128	-	3	1	46	-	-	1	2	-	-	1	-	1						
中京	67	2	-	-	7	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	54	2	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	137	-	-	33	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
下京	31	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	236	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
右京	222	-	2	4	42	1	-	1	3	-	-	2	-	-						
伏見	236	-	3	14	48	4	1	3	3	-	-	15	-	-						
西京	356	-	2	5	40	1	-	-	-	-	-	1	-	-						
京都市計	1,639	5	15	64	256	12	1	7	8	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	11.43	0.25	0.75	0.25	2.50	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	18.40	-	0.33	1.67	4.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	18.29	-	0.75	0.25	11.50	-	-	0.25	0.50	-	-	0.25	-	1.00						
中京	13.40	0.67	-	-	2.33	1.67	-	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	18.00	1.00	-	0.50	13.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	19.57	-	-	8.25	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
下京	10.33	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	47.20	-	0.33	-	5.67	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-						
右京	27.75	-	0.40	0.80	8.40	0.20	-	0.20	0.60	-	-	0.40	-	-						
伏見	21.45	-	0.43	2.00	6.86	0.57	0.14	0.43	0.43	-	-	2.14	-	-						
西京	50.86	-	0.50	1.25	10.00	0.25	-	-	-	-	-	0.25	-	-						
京都市計	24.10	0.12	0.37	1.56	6.24	0.29	0.02	0.17	0.20	-	-	0.49	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第10週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年3月7日～平成28年3月13日

データ入手日:平成28年3月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1,639	2	18	57	61	110	110	91	113	103	60	67	267	62	72	133	122	66	63	38	24
RSウイルス感染症		5	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		15	-	1	5	1	1	-	1	2	-	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		64	-	1	8	5	10	8	8	5	4	1	2	8	-	4	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		256	-	14	26	20	32	26	22	20	20	8	4	28	7	29	-	-	-	-	-	-
水痘		12	-	1	3	-	-	2	1	1	1	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		7	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		8	-	3	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		20	-	-	-	1	4	2	4	4	2	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	24.10	0.03	0.26	0.84	0.90	1.62	1.62	1.34	1.66	1.51	0.88	0.99	3.93	0.91	1.06	1.96	1.79	0.97	0.93	0.56	0.35
RSウイルス感染症		0.12	0.07	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.37	-	0.02	0.12	0.02	0.02	-	0.02	0.05	-	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.56	-	0.02	0.20	0.12	0.24	0.20	0.20	0.12	0.10	0.02	0.05	0.20	-	0.10	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		6.24	-	0.34	0.63	0.49	0.78	0.63	0.54	0.49	0.49	0.20	0.10	0.68	0.17	0.71	-	-	-	-	-	-
水痘		0.29	-	0.02	0.07	-	-	0.05	0.02	0.02	0.02	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.17	-	-	-	-	0.05	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.20	-	0.07	0.07	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.49	-	-	-	0.02	0.10	0.05	0.10	0.10	0.05	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第10週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年3月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	1,715	2,206	2,232	2,090	2,051	1,639
RSウイルス感染症	5	4	4	6	1	5
咽頭結膜熱	23	11	21	12	8	15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	72	68	95	83	64
感染性胃腸炎	318	306	333	303	295	256
水痘	21	7	20	13	10	12
手足口病	-	1	-	1	1	1
伝染性紅斑	17	14	11	9	16	7
突発性発しん	11	5	9	12	13	8
百日咳	1	2	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	1	1	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	12	20	29	21	20	20
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	1	5	1	2	2
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	2,194	2,650	2,732	2,563	2,500	2,029

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ(※1)	25.22	32.44	32.82	30.74	30.16	24.10
RSウイルス感染症	0.12	0.10	0.10	0.15	0.02	0.12
咽頭結膜熱	0.56	0.27	0.51	0.29	0.20	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54	1.76	1.66	2.32	2.02	1.56
感染性胃腸炎	7.76	7.46	8.12	7.39	7.20	6.24
水痘	0.51	0.17	0.49	0.32	0.24	0.29
手足口病	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02
伝染性紅斑	0.41	0.34	0.27	0.22	0.39	0.17
突発性発しん	0.27	0.12	0.22	0.29	0.32	0.20
百日咳	0.02	0.05	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.02	0.02	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.29	0.49	0.71	0.51	0.49	0.49
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.10	0.50	0.10	0.20	0.20
細菌性髄膜炎(※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-
合計	38.33	43.35	45.40	42.35	41.26	33.77

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。